

コード	30177
名称	経済統計論Ⅱ (2025-後期-金4)
1.開講年度	2025
2.開講期	後期 金4限
3.講義コード	30177
4.授業科目	経済統計論Ⅱ (2025-後期-金4)
5.単位	2
6.担当教員	佐井 至道
7.配当学年：法学科	2年以上
8.配当学年：経済学科	2年以上
9.配当学年：経営学科	2年以上
10.配当学年：商学科	2年以上
11.備考	(事前申込科目) 定員50名程度, 経済学部 2 年生優先

12.実務経験**13.実務経験：内容****14.実務経験：授業との関連****15.初年次教育****16.授業形態**

講義
演習

17.授業方法

受動型
アクティブラーニング：課題解決型

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（教室に備付）
PC・タブレット（学生自身が準備）

19.接続科目

地域社会
国際社会
産業界

20.授業の概要

経済学部経済学科に係る専門科目（選択必修科目）として、本講義は経済統計論 I に引き続いて、経教育理念に沿って、統計という手法を用いて経済事象を捉え、分析し、解決する能力を備えた人材の育成を目指す。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

- 1) 変数が3個以上ある多変量データについて特徴を把握することができる。
- 2) 重回帰分析や数量化理論 I 類などを用いて多変量データを分析できる。
- 3) 個々に収集した実際の多変量データについて適切な手法を用いて分析できる。
- 4) 質的変数のデータに対してダミー変数を用いて適切な分析ができる。
- 5) 得られたデータに対して適切な統計的手法を用いて分析できる。

22.授業計画

この講義は対面で行う予定である。連絡事項の伝達と資料のやりとりについてはWebClassを通じて行う。

オンライン対応時には、YouTubeの視聴を基本とし、講義時間前にWebClassで視聴方法などを説明するとともに資料を配付し、課題はメールに添付して送信してもらう。

1.多変量解析の概略

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：講義で学習した手法の復習

2.相関係数と単相関回帰

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

3.重回帰分析の概略

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

4.重回帰分析の利用例

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

5.重回帰分析応用：重相関係数と偏相関係数の導入

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

6.重回帰分析応用：重相関係数と偏相関係数の利用

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

7.重回帰分析応用：データの変換と回帰

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

8.重回帰分析応用：ダミー変数の導入

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

9.重回帰分析応用：ダミー変数の使用

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

10.数量化理論の概略

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

11.数量化理論 I 類の利用法

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

12.ログリニア分析の概略

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

13.個々に収集したデータに対する基本的な分析

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

14.個々に収集したデータに対する分析と解釈

- ・事前学修：分析するデータの収集
- ・事後学修：予測結果と実際の値との差の評価

15.レポート作成

- ・事前学修：分析するデータの収集
- ・事後学修：予測結果と実際の値との差の評価

23.予習・復習

予習（1時間程度）使用するデータの選定，手法の予習など

復習（3時間程度）レポートの作成，返却されたレポートについての復習など

24.注意事項

成績評価方法：レポートと講義内の小テスト

講義における出席状況や提出する小テスト（小レポート）を75%，講義内のレポートを20%などとして評価する。小テスト（小レポート）については，毎回チェックして返却し，次回の講義で解説する。

ほぼ毎回の講義において，パソコンを用いてデータ分析を行う。製品版のExcelがインストールされている自分のパソコンを用意すること。

希望者多数の場合には抽選を行うが，2024年度入学の経済学部生を優先する。

25.教材

プリントを配布する。

26.教科書**27.参考書**

ISBN	978-4-88730-420-8
書名	例解調査論
著者	佐井至道
出版社	大学教育出版
価格	2400円

28.授業関連科目

データサイエンス入門I, IIを前年度までに受講していることが望ましい。

経済統計論Iを受講していることが望ましい。

29.授業関連資格

社会調査士

データサイエンス・リテラシー教育プログラム

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	45
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	5
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	15
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	3
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	2
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手 段	実施内容	評価比 率
試験		
小テスト	講義における出席状況や提出する小テスト（小レポート）の内容を評価する。	75
レポート	1回作成するレポートの内容を評価する。	20
成果発表		
受講態度	受講状況を持続性・協調性などを含めて評価する	5
その他		